

## 第97回 北海道地方交通審議会船員部会 議事概要

開催年月日 平成28年10月28日(金)

開催場所 北海道運輸局6F会議室

□議 題□

### 1. 審議事項

なし

### 2. 報告事項

(1)北海道運輸局あっせん員候補者について

(2)船員の特定最低賃金の改正の決定に関し、関係船員及び関係使用者の意見聴取に関する公示結果について

(3)管内船員職業安定業務取扱状況(平成28年9月分)について

(4)離職四法に基づく減船離職船員現況調べについて

(5)離職四法に基づく求職者手帳発給数及び支給実績について

### 3. その他

情報交換

□議事概要□

1. 事務局より、北海道運輸局あっせん員候補者について、公益委員4名に対し平成28年10月1日付けで北海道運輸局長よりあっせん員候補者に委嘱する旨の発令がなされたとの報告があった。事務局より、船員の特定最低賃金の改正の決定に関し、関係船員及び関係使用者の意見聴取に関する公示結果について、意見提出期限の平成28年10月27日までに意見の提出は無かったとの報告があった。事務局より、平成28年9月分の管内船員職業安定業務取扱状況について報告があった。労働者委員より、北海道の船員の月間有効求人倍率の今後の見通し、及び全国の月間有効求人倍率の状況について質問があり、事務局より、北海道の月間有効求人倍率は最近は低下傾向だが求職や求人の増減により今後求人倍率が上がる可能性がある、また全国の求人倍率は2倍前後の状況が継続しているとの回答があった。使用者委員より、40歳未満の月末未済求職者が増加している理由について質問があり、事務局より、9月については理由は不明だが20歳代、30歳代の自己都合下船者や在職者、陸上勤務者からの求職が多かったとの回答があった。公益委員より、9月の漁船の求人求職の動向についての質問があり、事務局より、以前より未済であった漁船の求人登録が9月に期限切れとなったため9月の漁船未済求人が減少した、また9月は漁船の求職も少なかったとの回答があった。使用者委員より、全国と比較して北海道の月間有効求人倍率が低いことから北海道の海運市場が縮小しているのではないかと質問があり、事務局より、9月は求職数が多く求人数が少ない月であった、9月末で期限切れとなった求人が10月に再び新規求人に出てきていることから求人倍率が若干上がる可能性があるとの回答があった。使用者委員より、自己都合で下船して新規求職した人が多いが、本州の船に就職していた人が北海道に戻ってきて求職票を出しているのか、それとも北海道内の船に乗っていたが下船して求職票を出しているのかとの質問があり、事務局より、北海道内出身の船員が道外のタンカーや貨物船を下船して地元に戻って求職している人が多い、漁船の求職者はほとんど道内の船を希望しているが商船の求職者については貨物船やタンカーを希望している人はほとんど地元へのこだわりは無いとの回答があった。

2. 次回の船員部会は平成28年11月25日(金)13時30分より開催することを確認した。  
(以上)